

イベントのお知らせ

おとなも絵本ワークショップ

- ・ 童心にかえって絵本をよみませんか
- 「おおきな木」シェル・シルヴァスタイン,作 村上春樹 訳
リンゴの木と少年は友達であった。
ともに遊び、心を通わせていた。
しかし少年は大人になってゆきお金が必要になる・・・。



日 時 8月24日(土) 13時~17時
場 所 希来里ビル6階 イコーラム第1会議室
定 員 24名 先着順 親子でも、おとなだけでも。
参加費 500円
アクセス 近鉄奈良線若江岩田駅前すぐ (普通電車で難波から約20分)
申込み 中谷容子(会員) 06-6721-4682 午後9時まで
締め切り 8月23日

自然エネルギー学校・京都2013

日 時	2013年8月~2013年11月(全5回の連続講座)
主な会場	京エコロジーセンター(京都市伏見区)
アクセス	京阪電車「藤森駅」下車 西へ徒歩5分 地下鉄・近鉄「竹田駅」下車 東へ徒歩13分
主 催	京エコロジーセンター(http://www.miyako-eco.jp/)
会 費	4,000円(全5回分・資料代として)
定 員	30人(原則として全回参加可能な方)先着順受付。
申込み先	京エコロジーセンター 担当:澤田、遠藤 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13 TEL.075-641-0911 FAX.075-641-0912

8月31日
自然エネルギー普及の
最新動向
はじめよう!自然エ
ネルギー事業
市民共同太陽光発電
の最新動向
自然エネルギー利用
の事例を見る
自然エネルギー事業
へ向けた課題



編集後記

新聞の役割を頼に感じてきた私。天声人語(7/27)で、読者からの意見、地方からの言い伝えなどを紹介します。昔から生活の戒めとして「水罰(みずばち)」「火罰(ひばち)」「紙罰(かみばち)」があることを各地から寄せられたと。日本人の水の使用量1人1日300、食品の食べ残し・未使用破棄は500万t~800万tに上る。まさに「食罰」をくらっても文句も言えない。ものは有限であること。「謙虚な畏れを失いたくない」そのために『もったいない』に通じる「罰」の感覚は古いがモダンだ。埃を払って磨きたい 当会の学校紙ごみもったいないやんかプロジェクトは7年目を歩んでいます。(百)